

# 安全な職場づくりは『3S』から

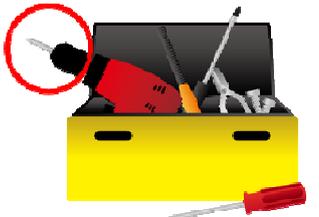
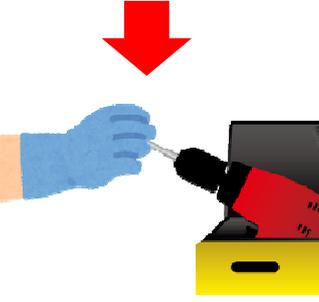
職場でよく聞く『5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）』という言葉は、安全で快適な職場づくりの基本として知られています。5S活動を進めるためには『3S（整理・整頓・清掃）』から段階的に行う必要があります。3Sが乱れた時の危険な例をもとに、なぜ3Sが重要なのか見ていきましょう。

## ●3Sの要素と例

- 整理 (Seiri)** … 不要なものを置かない（例：通路に台車を放置しない等）  
**整頓 (Seiton)** … 決められた場所へ片づけ、決められた置き方で置く（例：箱を乱雑に置かない等）  
**清掃 (Seisou)** … 職場をきれいにする（例：水や油で濡れた床を清掃する等）

## ●3Sが乱れた姿と本来のあるべき姿

下記の例を参考に、3Sが乱れた危険な状態と3Sを徹底した本来のあるべき状態について確認しましょう。

例1 工具があふれると	例2 通路に台車を置くと	例3 箱を乱雑に置くと	例4 床を清掃しないと
			
			
<p>工具の先端で、手を傷つける恐れがあるので</p>	<p>台車につまづき、転倒する恐れがあるので</p>	<p>バランスが崩れ、頭に落下する恐れがあるので</p>	<p>水や油で滑り、転倒する恐れがあるので</p>
			
<p>誰でも安全に使えるよう 正しく戻しましょう</p>	<p>使用後は決められた 場所へ片づけましょう</p>	<p>バランスが崩れないよう 正しく置きましょう</p>	<p>濡れている床はキレイに 拭き取りましょう</p>

3Sの徹底を維持することで『清潔』になり、決められたことを正しく守るよう習慣づけることが『しつけ』となり、5S活動が定着します。職場全員が3Sを徹底し、安全な職場づくりの土台を築くことが重要です！